



2023年10月26日

各 位

上 場 会 社 名 東洋機械金属株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 田畑 禎章
 (コード番号 6210 東証スタンダード)
 問 合 せ 先 執行役員経営企画室長 酒井 雅人
 (TEL 078-942-2345)

2024年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2023年8月10日に公表しました2024年3月期第2四半期累計期間(2023年4月1日～2023年9月30日)の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

また、最近の業績の動向を踏まえ、2024年3月期通期(2023年4月1日～2024年3月31日)における当社の連結業績予想を、下記の通り修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2024年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績との差異(2023年4月1日～2023年9月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1株当たり四半期純利益 |
|-------------------------------|--------|-------|-------|------------------|-------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 15,000 | △ 400 | △ 300 | △ 470 | △ 22.90 |
| 今回実績(B) | 14,058 | 2 | 55 | △ 318 | △ 15.51 |
| 増減額(B-A) | △ 942 | 402 | 355 | 152 | |
| 増減率(%) | △ 6.3 | — | — | — | |
| (ご参考)前期第2四半期実績(2023年3月期第2四半期) | 17,043 | 660 | 781 | 238 | 11.64 |

2. 2024年3月期通期の連結業績予想の修正(2023年4月1日～2024年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|---------------------|---------|--------|--------|-----------------|------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 33,000 | 400 | 600 | 130 | 6.33 |
| 今回修正予想(B) | 27,500 | 100 | 200 | △ 320 | △ 15.58 |
| 増減額(B-A) | △ 5,500 | △ 300 | △ 400 | △ 450 | |
| 増減率(%) | △ 16.7 | △ 75.0 | △ 66.7 | — | |
| (ご参考)前期実績(2023年3月期) | 35,298 | 1,319 | 1,538 | 648 | 31.59 |

3. 差異及び修正の理由

2024年3月期第2四半期累計期間の連結業績につきましては、国内や中国、米国からの需要低下の影響などにより、売上高の減少や生産減少に伴う操業度の低下、部材仕入価格高騰の影響を受けましたが、売価改善に努めた結果、営業利益、経常利益は予想を上回る結果となりました。

通期の連結業績予想につきましては、当社を取り巻く市場環境は、各国の状況によって違いはあるものの、成形機業界全体の需要は低水準で推移しております。東南アジアは自動車関連などを中心に堅調に推移しておりますが、中国のIT電子機器や医療関連、米国の生活用品関連の需要は低調に推移しております。また、部材調達環境の悪化により、主要な調達部材の価格高騰や長期化する部材供給不足に伴う生産効率の悪化、受注減少に伴う工場操業度低下による固定費回収不足が生じ、原価率が上昇しております。

当社グループといたしましては、変動する市場の需要に対してスピード感をもって対応し、当社独自の営業力・技術力・生産力をもって、受注・売上の確保と一層のコスト削減に努めるとともに、投資計画の見直しにも取り組んでまいります。しかし、今後も市場環境の悪化が継続することが見込まれ、売上規模が縮小すると予想されます。

この結果、通期の業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の業績および今後の見通しを踏まえ、上記のとおり修正いたします。

以 上